

# たねやま種雄牛だより

Since 2004.4

岩手県農業研究センター畜産研究所種山畜産研究室 TEL: 0197-38-2312 FAX: 0197-38-2177

## 「花金幸」号 15年の生涯に幕

8月31日、「花金幸」号が老衰のため永眠しました。今月号は、長年に渡り活躍した本牛を偲び、特集をお送りします。

### ❀ プロフィール ❀



登録番号：黒原 5308  
 審査得点：83.7点  
 生年月日：平成20年8月31日  
 産地：一戸町  
 生産者：木戸賢太郎氏  
 個体識別番号：0831629685  
 遺伝子型検査：10形質正常

### ❀ 年表 ❀

- 平成19年7月 木戸氏が飼養する「はるみ」に「第1花国」を交配し、受精卵を採取
- 平成19年11月 種山畜産研究室（以下、当室）の飼養牛に受精卵を移植
- 平成20年8月 当室にて「花金幸」誕生
- 平成21年4～8月 産肉能力検定（直接法）を実施
- 平成22年8月 いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会（以下、協議会）で現場後代検定牛に選抜
- 平成22年12月 本原登録
- 平成24～26年 産肉能力検定（現場後代検定法）を実施
- 平成27年3月 協議会で基幹種雄牛として選抜、凍結精液の本格供給開始
- 令和元年6月 平成30年の一般肥育成績が良好であることが判明  
 ※令和元年度の凍結精液売上本数（以下、売上本数）は前年度の約3倍に
- 令和元年9月 第17回岩手県農協肉牛枝肉研究会で**最優秀賞**
- 令和2～4年 令和2年度、3年度、2年度連続で**岩手県有種雄牛最多売上本数**を記録
- 令和4年2月 令和3年度岩手県有種雄牛産子限定枝肉共励会で**最優秀賞**
- 令和4年5月 令和4年度岩手県育種組合枝肉共励会で**最優秀賞**
- 令和5年8月 15歳の誕生日に老衰のため**永眠**
- 令和5年9月 令和5年度岩手県有種雄牛産子限定枝肉共励会で**最優秀賞**

## ※ 生産者 木戸幸一さんにインタビュー ※

生産者の木戸幸一さん（賢太郎さんの息子さん）にお話を伺いました。

- ① 「第1花国」で種雄牛を生産したことについて  
奥中山地域は、島根からの導入で牛づくりをしてきた流れがありますので、そのルーツを汲んだ種雄牛造成となったと思います。



生産者の木戸幸一さん

- ② 「花金幸」作出に係る思い出

母牛「はるみ」は鹿児島から導入した雌牛でした。私はその当時、農協職員でしたので、現地に赴いて直接牛を見て購入を決めました。体重は207kg、平均価格より10万円安い牛でしたが、環境を整えばしっかりと大きくなりそうだという直感がありました。結果、無事に大きくなり、また、産肉能力も高いということが判明しました。その後、「金幸」からの種雄牛造成を目指していた当時の種山の担当者（現 農業大学校 児玉准教授）から、電話で採卵についてのオファーをいただきました。

- ③ 「花金幸」が種雄牛として選抜された時の感想

現場後代検定の成績が、選抜の可否をきめる協議会の開催までに揃わず、同期から1年遅れのデビューでした。現場後代検定の成績はそこまで高くはありませんでしたが、地域のルーツである系桜系の牛でしたので、魅力を感じ、ぜひ使ってみたいと思っていました。

- ④ 「花金幸」の凍結精液が地域を中心に全県で利用されたことについて

一般肥育成績が出始めた頃、「花金幸」産子を肥育した県南地域の肥育農家から、「良い枝肉だった」という話を聞き、良かったとホッとしました。その後、自農場で肥育した産子も去勢は全頭、雌もほとんどがA5であり、安定して高い能力を発揮してくれることを実感しました。

- ⑤ 「花金幸」に一言

お疲れ様でした。母牛の導入から、いろいろな偶然が重なって誕生した種雄牛で、最期も誕生日に亡くなったということで、最初から最後まで「何かを持っている牛」だったなと感じています。

# ❁ 生産当時の担当者(現 農業大学校 児玉准教授)にインタビュー ❁

## ① 「花金幸」を生産した経緯

平成17年、当時の上司から「金幸」で種雄牛を造りたいというオーダーがありました。当時は平茂勝などの気高系と但馬系の種雄牛が多く、違う系統の種雄牛を造成したいとの意向でした。しかし、鹿児島県有である「金幸」の凍結精液は県外に流通しないため、父が「金幸」の雌牛から種雄牛を造成してはと考えました。

そこで、父が「金幸」で育種価が高い雌牛をリストアップし、選抜指数値が上位の「はるみ」から採卵したいと考え、飼養者の木戸さんに相談しました。

交配種雄牛は青森県との遺伝資源交流で入手した「第1花国」を提案したところ、木戸さんから賛同いただき、県有種雄牛の血統構成では少なかった「系桜系×栄光系」の種雄牛造成を目指しました。

## ② 採卵時の思い出

母「はるみ」の飼養地は一戸町でしたので、種山から道のりがとても遠かったのを覚えています。「はるみ」は採卵を嫌がり、採卵終了後、怒って柵場を壊した時のことは忘れることができません。

## ③ 花金幸の一般肥育成績が判明した時の感想

平成30年に一般出肥育績が判明し、去勢で平均BMSNo.8.7、上物率94%と良好であったときは、本当に嬉しく思いました。

※H30年度県一般肥育牛の平均BMSNo.は7.2。

## ④ 花金幸に一言

バランスの取れた産肉能力育種価で評価され、晩年は令和3年度に初開催された「岩手県有種雄牛産子限定枝肉共励会」で最優秀賞(右写真)を獲得するなど、本県の肉用牛振興に大きく貢献してくれた種雄牛だと思います。本当にありがとうございました。

令和3年度岩手県有種雄牛産子  
限定枝肉共励会 最優秀賞



去勢 31.4 カ月 母:安福久×百合茂  
枝重:527 kg、口芯:107 cm<sup>2</sup>  
BMSNo.12



～種山の情報誌・SNSはこちらのQRコードからチェック～  
←【たねやま種雄牛だより】【子牛市場成績】のバックナンバー  
Facebook アカウント“いわて畜産振興ネット” →



# ❁ 有終の美！！令和5年度岩手県有種雄牛産子限定 枝肉共励会で**最優秀賞**を受賞！！ ❁

9月22日に(株)いわちくで開催された「令和5年度岩手県有種雄牛産子限定枝肉共励会」で、「**花金幸**」号の去勢産子が**最優秀賞**を受賞しました（下写真）。

サシが細かく入り、肉量に富む、質量兼ね備えた圧巻の枝肉でした。

このタイミングでの**最優秀賞**ということで、木戸さんのお話にもありましたように、「何かを持っている牛」なのだなということを改めて実感しました。

同枝肉共励会の詳細については、「たねやま種雄牛だより令和5年10月号(235号その2)」をご覧ください。



**花金幸**×**美国桜**×**安福久** 去勢 月齢：29.2カ月齢

枝重：572 kg、口芯：102 cm<sup>2</sup>、バラ厚 8.7 cm、皮下厚：1.8 cm、歩留：79.7、BMSNo.12

## 次長 **昆野** の **ツブヤキ** 「花金幸に想う」

「花金幸」は明確な方針により作出され、生産地域の継続的利用と県内屈指の肥育農場による産肉能力の実証により、遅咲きではありましたが、県有種雄牛のエースとして活躍してくれました。亡くなる直前の「花金幸」は、老衰のため寝たきりでしたが、最期まで種雄牛の威厳を保ったままの大往生でした。改めて「花金幸」に関わった皆様に感謝申し上げます。

育種改良事業において、目標を実現するための改良方針は重要です。育種組合の組合員である生産者の皆さんは育種改良方針をご存じでしょうか。方針に基づき、組合員の総意で改良を進めることが生産者の求める種雄牛を造成する近道ですので、まずは改良方針を確認してみたいはいかがでしょうか。